



株式会社モハラテクニカ専務取締役。板金、切削、溶接など独自の特加工技術を生かした微細加工が特長

高崎が誇るものづくりのチカラ

熱い志と確かな技術力



先端産業を支える専門的技術や受け継がれる伝統技術。本市には世界に誇れる技術を持つ企業が数多くあります。今回は、製造業の若手経営者や伝統を継ぐ職人の皆さんをお迎えし、それぞれの思いを伺います。

海外で高評価 メイドイン高崎の技術・技能

市長 昔から高崎は商都と呼ばれ、卸・小売業などは、全国の都市別ランキングでも上位を占めるほどです。でも実際には、いわゆる「ものづくり」の分野も盛んで、第一線の技術や技能を持った企業や職人さんが、この高崎で頑張っているんですよ。高崎は平成26年度から、ものづくり海外フェアを開催しています。インド、タイ、ポーランド、チエコ、そしてシンガポールで、高崎の企業が育んできた優れた技術を発信してきました。地方都市に、このような企業があるというのは、ドイツと日本ぐらいだと思います。各国の経済界のリーダーたちには高く評価されているんですよ。例えば、人材確保にもつなげていくために、高崎の若い人たちに、こうした実情をPRしていくことが大切だと私は考えているんです。まず町田さん、社名にもギヤーとありますが、どんなものを作っているんですか。

町田 はい。産業用、建設機械用、近



株式会社六角塗装店専務。平成30年度青年優秀技能者表彰を受賞。安全・丁寧・確実な施工と管理に注力

町田 町田さんのところの歯車が、航空機の一部として空を飛んでいる、なんて考えると夢がありますよ。茂原さんのところの製品は形として見えるものになりますよね。

茂原 そうですね。工作機械のパネルや外装系の板金部品は、目に付きやすいものですから。また精密部品などの加工技術の難易度の高いものなどにもチャレンジしていったら、他社製品との差別化を図っていききたいですね。

市長 その他にも最近では、有害鳥獣の撃退装置なども開発しているんですか。

茂原 はい。うちが研究者とタッグを組んで独自開発している自社製品なんです。超音波でガラスやシカなどの有害鳥獣を追いかうというものです。

市長 全国的にも注目されるような、面白い取り組みですね。

時代と共に進化する技術と 日本文化の伝統技能

市長 塗装の分野でも、塗料の材質や技術などがどんどん進化しているんで



本市のものづくりを世界に発信しながら、働く環境の改善や人材の確保にも力を入れている

年では航空機やロケットなどに使われる、鉄製の歯車を製作しています。大手メーカーをはじめ、幅広くいろんな企業と取引させていただいています。

市長 なるほど。茂原さんのところではどのようなものを。

茂原 はい。主に板金加工です。アルミ、ステンレス、鉄といった金属素材を加工して、工作機械のカバーやエレベーターの部材、医療や食品分野など、さまざまな産業シーンに板金部品を提供しています。

市長 六角さんは塗装の分野ですね。どんな現場を手がけているんですか。

六角 家屋やマンション、橋梁などで、施工後の管理も行っています。例えば橋の再塗装などの作業では、昔の塗膜に有害物質が含まれているものから、慎重かつ安全な施工に努めています。ミクロン単位で塗膜管理をさせていただいているところが弊社の特長です。

市長 量職人の櫻井さんは、伝統的な技能の分野ですね。シンガポールの海外フェアにも参加していただきました。とても評判が良かったようですが。



櫻井量店店主。昨年シンガポールのものづくりフェアに参加し、量の手縫いを実演。後継者の育成にも尽力

の良さもアピールできたんですがね。

市長 確かに少なくともはなってきたかもしませんが、例えばご年配の世代など、三部屋あれば、一部屋を畳にして、ぜひたくな空間、生活の豊かさを追求する、そんなトレンドイーな需要が増えると思はっています。

櫻井 年を重ねていくと、家族の旦那さんなどの場合で、畳の心地良さを感じてもらえらるような…。

市長 そう。だから櫻井さんのような職人さんには、ぜひ頑張ってもらいたいですね。

人材確保にもつながるよう 頑張る中小企業を応援

市長 現在、地方都市では、多くの中小企業が頑張っています。高崎市内でも99・7%を占めている、こうした企業を応援しよう、市ではさまざまな助成制度を設けていますが、今度は、職場環境の改善への支援を考えています。夏の工場内などは気温が上がって、過酷な状況で働く人たちも多いと聞きます。そこで、冷房器具などの設置について

櫻井 はい。現地で実演をしましたが、大きな針を使った作業などが珍しいということもあり、皆さんに関心を持っていただきました。現地のお客様が欲しいということでも量は置いてきましたが（笑）。シンガポールの富裕層などに向けて取引できそうな感触もありましたね。

市長 中国系の人たちなどに向けた輸出もできるようなといいですね。

ものづくりには夢がある 努力の影にチャレンジ精神

市長 町田さんのところでは海外展開を視野に入れているんですか。

町田 そうですね。まずは社員の生活を守りたいという思いがあるので、国内での仕事をどう確保していくかというのが基本的な考えです。でもグローバル化が進む中で、先ほどのお話にも出てきた海外フェアなどに参加すると、国境も人種も関係なく、当たり前のようにビジネスが盛んに行われている現場を肌で感じられて、すごく国際感覚が養われます。国内を踏まえた上で、今後海外に展開していきたいという強い思いがあります



株式会社町田ギヤー製作所代表取締役社長。ものづくりフェアに2度出展。近年は航空宇宙産業にも力を入れる

てその費用を助成するものです。

町田 働く環境は無視できないのですが、うちはまだ、そこまで手が回っていません。でも、屋根に遮熱塗装を施したことで、かなりの効果がありました。

六角 塗るだけで室内外の温度差が5度くらい変わるんですよ。

市長 出勤するのに「暑いから塩飴で頑張れ」というわけにはいきませんがね。こうした環境では、若い人たちに敬遠されてしまい、人材確保の面からも大変です。頑張る皆さんを応援できればと考えているんです。

町田 労働環境の改善についての助成は、大変ありがたいですね。

茂原 人材確保の面では、大手志向がある中で、難しいところもありますが、家族的な経営といえますか、中小企業ならではの良さを感じてもらえるようにしていきたいと思えます。

市長 若い人たちにとっては、給料のことでだけでなく、やりがいとか、頑張れるという思いが大事なんだと思うんです。やはり、人々が自分が接点を持った会社や組織が誇らしいものを持っていると、自分のこととして喜べる、胸を張れるんですよ。例えば、高崎は昔から交通の要衝と言われてきましたが、それだけではなく、スポーツや文化の面で特色を出して、皆が胸を張れるようなまちづくりが必要です。ものづくりの分野も同じです。今後とも、皆さんのご協力をよろしく願います。

同 ありがとうございます。